

女性活躍促進事業【三豊市】

地域の実情と課題

三豊市では、「一人一人が自分らしく輝くために」を基本理念に掲げ、平成20年3月に「第1次三豊市男女共同参画プラン」を、平成25年3月に「第2次プラン」を策定し、男女共同参画社会の実現のため、各種施策に取り組んでいる。

その中で、「家庭・地域生活と職業の両立支援」「政策・方針決定過程への女性参画の拡大」を重点目標の一つに掲げ、審議会等への女性委員の登用促進にも取り組んでいるが、登用率の上昇にはつながっていない。

事業の特徴

女性の活躍推進には、地域や職場での理解や意識改革が必要になるため、広く市民を対象とした講演会を開催し、仕事と家庭の両立や女性の活躍を支援するための啓発を行う。

市内中小企業の女性職員を対象にスキルアップ講座を開講し、職場におけるモチベーションを高めるとともに、スキルの向上を図り女性職員の活躍を支援する。

事業の効果

・講演会や啓発グッズ作成により、女性が社会に出る事やワーク・ライフ・バランスの理解や大切さを考える意識改革ができた。

<講演会でのアンケート結果>

「ワーク・ライフ・バランス」について

講演前:言葉を知らなかった (48%)

講演後:意味を理解できた (71%)

・スキルアップ講座では、述べ44名の参加があり、参加者からは、仕事に対して問題意識を持って取り組むようになったなど意識改革が見受けられた。

目的・目標

【講演会・啓発グッズ作成】

ワーク・ライフ・バランスへの理解を深めてもらい、まわりの人にも女性活躍を支援する意識を持てるよう変化を期待する。

<目標> 講演後にアンケートを実施

H24年度市民アンケート時に「ワーク・ライフ・バランス」について「まったく知らない」が53.3%、「言葉だけ知っている」24.9%講演後は、「意味を分かっている」が半数を超えるようにする。

【スキルアップ講座】

市内中小企業の女性職員に、講座を受ける前と後にアンケートを実施し、意識の変化とスキルの向上を検証する。

連携団体

市内で活動する27団体が加入する「三豊市男女共同参画推進ネットワーク会議」と講師選定等、連携を図りながら事業を実施した。

今後の課題

・講演会では、ワーク・ライフ・バランスについて一番聞いて欲しい年代の30・40代の方の参加が少なかった。整理券の配布方法や託児施設など、子育て世代の方が来られるような対応を心がけるべきであった。

・スキルアップ講座では、市内の中小企業の女性職員を対象に行ったが、中小企業では女性職員の数が少ないため平日は出席するのが難しいといった声が聞かれた。今後は、対象者のことを考えて、休日の開講も視野入れて取り組みたい。

事業の概要

【講演会】

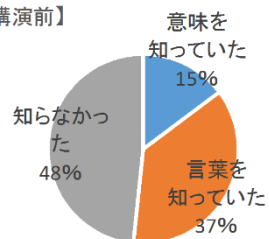
日時：平成27年11月23日（祝・月）14：00～
場所：マリンウェーブ
講師：菊池桃子氏
演題：「いつも前を向いて ～学ぶ楽しさ・生きる楽しさ～」
参加者数：781名

<内容>

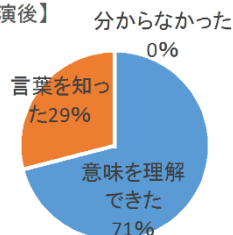
- ・アイドルから大学院生へ、そして大学教授となるキャリアから、いくつになっても学ぶことの大切さ
生まれてから一生を終えるまでが、キャリア
- ・女性の社会進出には「ワーク・ライフ・バランス」が必要であること



【講演前】



【講演後】



<アンケート結果>

「ワーク・ライフ・バランス」について「言葉を知らなかった」方が48%もいたが、講演後には、「意味を理解できた」方が71%になり、女性の活躍に対する意識改革につながったと考えられる。

【スキルアップ講座】

時期：全5回
(平成27年9月～平成28年1月)

対象者：市内中小企業女性職員

受講者：述べ44名

内容：

- ①職場の小さな問題点をカイゼンする方法
- ②こんなときどうする？～皆で考え、知恵を共有するケーススタディ～
- ③ミスなし職員になるための着眼点
- ④パワーポイント使いこなし講座(前編)
- ⑤パワーポイント使いこなし講座(後編)



【啓発グッズ作成（メモ帳）】



<作成部数>

1,000部作成

<内容>

『女性が輝く
社会の実現に向けて』

<配布先>

- ・市役所関係窓口
(男女共同参画週間)
- ・講演会